

令和7年度社会福祉法人三環舎事業報告書

1 利用定員

	あしたば園	夢来夢来	夢来夢来
就労移行支援		6	
就労継続支援 B 型	20	20	
自立訓練	6		
生活介護	14		
就労定着支援			9
就労選択支援		0	10
計	40	26	

- 2 職員数 あしたば園 24 名 (常勤換算 20.5 人)
 夢来夢来 21 名 (常勤換算 16 人)
 あさひが丘 10 名 (常勤換算 7.5 人)
 あまみ障害者就業・生活支援センター 4 名 (常勤換算 3.8 人)
 チャレンジドサポート奄美 6 名 (常勤換算 5.6 人)
 計 65 名 (常勤換算 53.4 人) (R8.3.31 現在)

3 主な実績等

①通所者数

	あしたば園				夢来夢来					あさひが丘	
	就労B型	自立訓練	生活介護	小計	就労移行	就労B	小計	就労定着	就労選択	共同生活	短期入所
定員	20	6	14	40	6	20	26	9	10	13	1
4月	20.5	2.9	15.6	39.0	3.2	18.7	21.9	8.0		11.2	1.6
5月	20.2	3.1	15.4	38.7	3.2	17.8	21.0	8.0		11.3	2.2
6月	20.9	3.1	16.8	40.8	3.0	16.5	19.5	9.0		11.3	1.8
7月	19.4	2.5	14.8	36.7	3.0	17.7	20.7	9.0		10.4	1.7
8月	20.8	2.4	16.1	39.3	2.2	15.8	18.0	10.0		9.6	1.8
9月	19.7	3.1	15.9	38.7	2.4	16.9	19.3	10.0		11.5	1.7
10月	17.4	3.0	14.3	34.7	2.5	18.6	21.1	9.0		11.4	2.2
11月	16.3	2.7	13.2	32.2	2.5	16.3	18.8	9.0		10.4	2.1
12月	16.7	2.9	13.4	33.0	2.0	14.9	16.9	9.0		9.8	1.7
1月	17.2	2.7	15.7	35.6	2.3	16.9	19.2	8.0		10.4	1.7
2月	17.5	3.3	15.7	36.5	2.2	16.6	18.8	7.0	0.0	11.6	1.9
3月	16.5	2.9	15.4	34.8	2.2	17.6	19.8	7.0	0.0	11.5	1.7
月平均	18.6	2.9	15.2	36.7	2.6	17.0	19.6	8.6	0.0	10.9	1.8

②工賃(4月~3月)

総額 22,258,020円

	あしたば園			夢来夢来	
	就労B	自立訓練	生活介護	就労移行	就労B
総額	8,717,480	608,570	1,513,710	686,270	9,667,830
平均利用者数	18.6	2.9	15.2	2.6	17.0
平均月額	39,056	17,488	8,299	21,996	48,675

4 活動の内容と成果

重点事項に対する取り組みは、次のとおり

- 1 奄美市農林産物直売所の指定管理を受け、「夢来夢来テラス」を開設した。
- 2 グループホーム「みどりが丘」の建築を行った。（定員7名、ショートステイ3名）
- 3 基幹相談支援事業所を聖隷福祉事業団と共同で受託。職員1名を派遣している。
- 4 昨年度に続き、ヤマト福祉財団の菓子販路拡大研究会に参加。全国10か所の事業所と共に学び、交流ができた。新しいおからクッキーなどを製造、パッケージの検討、利用者の作業工程の見直し、菓子工房の衛生管理など改善を行っている。
- 5 就職者は1名であった。
- 6 就労選択支援のモデル事業に参加。2月1日に就労選択支援事業所開設となった。
- 7 隔月の全体ミーティングで各委員会を行った。（①感染症食中毒対策・健康増進委員会②虐待・身体拘束防止、苦情解決委員会③ホームページ・商品開発委員会④安全運転・防災委員会⑤ライフログ委員会⑥エコ委員会）
- 8 給与体系の見直しと職員の処遇改善を行った。また、パート職員の時給の改善を行った。
- 9 利用者へのアンケート、職員の要望・提言調査を行った。

あしたば園

- 1 移動販売の継続（笠利、住用、大和村、看護福祉専門学校）
- 2 工賃向上の取り組み
 - ・委託作業（和光園の年間通して週2回の草刈り作業）
 - ・多肉植物の栽培と植木鉢製作
 - ・催事に向けてのセット・製品開発を行う（お中元、お歳暮、クリスマスなど）
 - ・製造現場の衛生面向上
- 3 余暇活動の充実
 - ・講師を招いて音楽療法とヨガ（各月2回）を行った。
 - ・体力づくりのため、積極的に散歩に出かけた。
 - ・喫茶レクの実施
 - ・月に一回季節のイベントを行った（花見、スモア会、バーベキューなど）
- 4 地域との交流
 - ・地域行事にあしたば太鼓出演
 - ・地域貢献として、散歩時周辺のゴミ拾い
- 5 自立訓練のカリキュラム構築

《製造班》

製造班は、「ラスク及び菓子製造」、「島じゅうり」の二班で活動している。

ラスク及び菓子製造班は、希少糖ケーキ、あまみ気分を中止し、ショコラケーキを新発売。ラスク、おからクッキー、クッキーシューとチーズケーキ、シフォンケーキ、クリスマスのケーキの生産を行っている。また、利用者の誕生日には、バースデーケーキをプレゼントしている。

島じゅうり（加工場）では、郵便局が鶏飯の販路を拡大してくださり、生産に追われることもあった。売り上げが前年比103%となり、工賃向上に貢献した。パン、ラスク・ケーキで1,202万円（+293万）島じゅうり2,263万円（+59万円）

《委託作業》

和光園の草刈り作業を受託し、その他官公庁の剪定作業や墓掃除へも取り組んだ。254万円（+11万円）。名刺印刷56万円（△4万円）にも取り組み、官公庁よりの受注を行っている。

《生活介護》

日々、障がい特性に合わせた軽作業を行っている。喫茶レクや遠出販売は利用者さんの楽しみでもあり、後半に再開することができた。スヌーズレンの活動も継続。スヌーズレンルームで一時的ないらだち、不安感の解消など利用者のリラクゼーションにも取り組んでいる。音楽療法やヨガも楽しんでいる。

夢来夢来

- 1 就職者は1名
- 2 利益向上のため、新作パンの製造、パンの追加焼き、SNSによる宣伝などを行ったが、原価高騰のため、売り上げが上がったにもかかわらず減少した。
- 3 自動釣銭機とスマレジの操作にも慣れ、利用者のレジ操作ができるようになった。
- 4 ワックス掛けの再開を行った。

《製造班》

パン製造班は、徐々に力をつけている。パン製造販売2,979万円(+481万円)。季節ごとの新作パンの製造、パンの追加焼きの体制は出来ていた。毎日、パンの残りを集計しながらパンの製造を試みたが、数字には結びつかなかった。

《販売班》

店舗では元気よく対応し、お客様に親切なお店として好評で、1日平均170名近くのお客様が来店している。また移動販売班では、和光園、市役所と週2回の移動販売を行っている。感染症対策と、移動販売先のお客様の配慮で、引き続き販売を行うことができている。

イベント(支援学校文化祭・アマホーム・アイアイ広場)販売も数回、出店する事が出来た。

《喫茶・ランチ班》

原材料が値上げとなり、弁当の量と金額の見直しを行った。又、全体的にメニューの見直しも行った。弁当1,533万円(+439万円)、喫茶554万円(+101万円)

《清掃班》

サービス付き高齢者住宅「ゆとりあん」の清掃作業、退所時清掃、ワックス掛けを通して、作業スキルを身に付け一般就労への力をつけている。

- ・幸栄パチンコ店ワックス掛け(月1回)、ワックス剥離作業(年1回)
- ・事業所のワックス掛け(月1回)の予定で、だいたい出来ていた。

《奄美市食の自立支援事業》

奄美市が行う訪問給食サービスの委託を受け在宅の高齢者に対して、温かい食事を配食することにより、栄養の改善や、安否の確認等を行っている。新規の利用者も増えているが、今年度で終了し、むかいクリニックに引き継いだ。

《厨房班》

むかいクリニックの厨房で食器洗浄、仕込み、盛り付けなどを行い、スキルアップに役立っている。

《就労支援》

就職への意欲は高く、就職者1名 実習延べ2名であったが、それぞれ力をつけている。

《その他の取り組み》

余暇活動としてあしたば太鼓やダンスを行っている。

夢来夢来テラス

- ①地域の農家や高齢者、福祉事業所との連携を図り、自家生産の農作物を仕入れ、販売した。
 - ②生活研究グループの加工品の販売
 - ③飲食物の提供
 - ④人が立ち寄る交流拠点とし、地域の活性化を目指した。
- (1)定員 午前・午後 2名ずつ (夢来夢来利用者)
 - (2)職員数 3名 (常勤換算2.5人)
 - (3)内容
 - 1 売り上げ、利益向上(パン販売、弁当の製造、喫茶、SNSによる効果的な宣伝)
 - 2 地域の農家や高齢者、福祉事業所との連携を図った。

あさひが丘(介護サービス包括型共同生活援助)

サービス管理者1名、生活支援員3名、世話人4名、宿直3名(内職員兼務2名)
入居定員 ・あさひが丘 共同生活援助7部屋 短期入所 1部屋
・みどりが丘 共同生活援助6部屋

《利用実績》

●共同生活援助（入所者）

月	あさひが丘 (6部屋)	みどりが丘 (6部屋)
4月	6名	6名
5月	6名	6名
6月	6名	6名
7月	6名	6名
8月	6名	6名
9月	6名	6名
10月	6名	6名
11月	6名	6名
12月	6名	6名
1月	6名	6名
2月	6名	6名
3月	6名	6名

●短期入所（ショートステイ）

月	あさひが丘 (2枠)	みどりが丘
4月	6名(47日)	
5月	7名(52日)	
6月	7名(55日)	
7月	5名(54日)	
8月	7名(57日)	
9月	6名(51日)	
10月	8名(61日)	
11月	8名(64日)	
12月	7名(55日)	
1月	5名(52日)	
2月	9名(54日)	
3月	6名(53日)	

《サービス内容》

☆共同生活を営むべき住居における相談、入浴、排せつ、又は食事の補助、その他の日常生活上の援助を実施

☆利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を実施。

☆利用者個々人の特性に合わせた支援を行うと共に、利用者や家族の将来を見据えた共同生活援助、短期入所サービス利用の促進を実施。

あまみ障害者就業・生活支援センター

《支援実施状況》（令和8年3月31日現在）

□登録状況（性別）

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計（人）
男性	32	65	58	3	158
女性	15	40	39	4	98
合計	47	105	97	7	256

□登録状況（現状別）

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計（人）
在職中	28	74	30	3	135
求職中	14	27	52	4	97
その他	5	4	15	0	24

合 計	4 7	1 0 5	9 7	7	2 5 6
-----	-----	-------	-----	---	-------

□実習・就職件数

区 分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計 (件)
職場実習	6	9	8	1	2 4
就 職	1	7	6	0	1 4

登録者にお

ける男女比は、男性が62%、女性が38%で、障害別では、概ね身体障害者18%、知的障害者42%、精神障害者38%、その他2%となっている。登録者における在職者の割合は、約55%となっている。

実習（11件→24件）、就職（11件→14件）ともに昨年を上回ったが、就職件数については、目標に1件足りなかった。

また、相談者に対する支援の実施状況は1、369件で昨年並みであったが、事業所に対する相談・支援の状況は、733件と昨年を200件近く上回った。

主な実習先や就職先としては、ホテルや病院での清掃、スーパー等での品出し等が多かった。

また、当法人においても、夢来夢来で1名の障害者雇用を行った。

《障害者就業開拓推進員の配置》

県雇用労政課の障害者就業開拓推進員が1名駐在し、求人開拓や雇用関係情報の収集などの業務に従事して頂いた。（平成26年度から継続）

《離島訪問等》

当初予定回数どおり離島訪問することができた。それにより関係機関との情報共有や登録相談会、事業所開拓等を行うことで実習や就職支援、定着支援、生活支援に繋がった。また、本島内6地区でも9月に登録相談会を開催した。

【離島における訪問回数】

（喜界島）3回 （徳之島）3回 （沖永良部島）3回 （与論島）3回

《在職者交流会》

在職者を対象にした交流会を3回実施し、就労面や対人関係等の悩みなどを共有した。課題の解決や就労意欲のモチベーションの維持を図ることで定着につながっている。

第1回 日時：令和7年6月21日（土）10：00-15：00

場 所：奄美市社会福祉センター4階会議室

講 師：センター職員

テーマ：正しい睡眠の取り方について

「アマミノクロウサギミュージアムQ u r u G u r u見学」

参加者：14名

第2回 日時：令和7年12月20日（土）10：30-15：00

場 所：奄美市社会福祉センター2階会議室

講 師：グループホームあさひが丘 管理者 平 修一氏

テーマ：お金の上手な使い方について

「ランチ会&カラオケ（神戸唐唐亭奄美大島店）」

参加者：16名

第3回 日時：令和8年3月14日（土）10：30-15：00

場 所：奄美市社会福祉センター4階会議室

講 師：センター職員

テーマ：今年度の振り返りと新年度の目標設定

「グランドゴルフ（ワークセンター奄美）」

参加者：10名

《ピアサポート交流会》

センターの概要説明を行い、その後ピアサポーターの講話、参加者と意見交換を行った。

日 時：令和7年12月11日（木）13：30-14：30

場 所：奄美市社会福祉センター2階会議室

講 師：星窪きらり職員 西田 啓吾氏

参加者：就労移行支援事業所等に通所しているセンター登録者等 7名

常勤専従の主任相談支援専門員を配置し、当該事業所及び地域のその他の相談支援事業所の従業者の資質向上のため助言・指導を実施し、自立支援協議会に定期的に参画し、関係機関との連携の緊密化を図る

管理者及び主任相談支援専門員 1 名 相談支援専門員 5 名（うち非常勤 1 名）
（現任研修修了者 3 名）基幹センターに 1 名出向

1 計画相談実績

月	利用計画作成（請求分）	モニタリング（請求分）
4月	10	144
5月	71	52
6月	24	37
7月	10	114
8月	21	62
9月	22	62
10月	10	112
11月	22	61
12月	17	44
1月	19	111
2月	16	55
3月	15	52
計	257 件	803 件

2 障害児等療育支援事業実績

1 在宅支援訪問療育支援事業（157 件）

- ・小児神経専門外来、発達療育相談
- ・県立大島病院 2 回、奄美市 2 回
- ・心理士相談：発達検査 92 件実施（含市町村障害児相談事業）
臨床心理士・公認心理士 西留氏
学校心理士・公認心理士 中島氏
- ・もぐもぐ相談（鹿児島大学小児歯科 佐藤医師）3 回

2 施設支援一般指導事業（61 件）

療育施設、保育所、幼稚園、学校、大島養護学校などからの申し込みを受け、専門スタッフを派遣して、療育に関する技術向上に向けての助言や支援を行った。喜界町、徳之島町、与論町にも支援に伺っている。

- ・発達障害地域支援専門員 大山氏・向井氏
- ・療育指導相談員 當島氏
- ・聖隷福祉事業団 保育士 座安氏、赤塚氏
- ・にこびあ 言語聴覚士 法氏
- ・ニョッキ 言語聴覚士 里氏
- ・鹿児島大学小児歯科 佐藤医師、橋口医師
- ・そらまめキッズ 平原氏
- ・ことばの相談室みかんの樹言語聴覚士 松永氏
- ・障害者親の会
- ・就学児親の会（1 回）
- ・ダウン症親の会（1 回）

3ペアレントプログラムの実践（0 回）保健師が行うようになった。

4 鹿児島県子ども療育センターのコーディネーター会議への参加（リモート 9 回、現地 3 回）

3 会議への参加

- ・協定ミーティング（週 1 回）
- ・奄美地区地域自立支援協議会
- ・相談支援部会（毎月）

- ・運営委員会
- ・子ども部会
- ・地域移行支援部会
- ・就労支援部会
- ・精神部会
- ・主任相談支援会議
- ・鹿児島県相談支援専門員協会運営委員会
- ・鹿児島県主任相談支援専門員ネットワーク